

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（156）」

2. 日時：令和5年3月29日(水) 10時00分～11時56分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・第1117回審査会合からの変更概要

<<本年3月22日に受取済み>>

・泊発電所3号炉 基準地震動の策定について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁タニです。ヒアリングを開始したいと思います今日のヒアリングの案件としては泊発電所3号炉基準地震動の策定についてと、
0:00:11	いうことで、
0:00:13	3月22日に、
0:00:16	資料が提出されてまして、
0:00:18	今日ですね、まがい概要というか変更概要というのを、
0:00:24	1枚の河本井浦で資料が追加されてますので、まず資料を用いて北海道電力から説明をお願いします。
0:00:34	北海道電力の松村です。本日の
0:00:38	ヒアリングよろしくお願いたします。
0:00:41	2月24日の会合を踏まえまして資料を作成しましてまた、今、谷さんからあった通り追加で資料を作成しましたのでまず説明させていただきます。説明はタカハシからで、
0:00:54	20分から30分ぐらい、説明させていただきますよろしくお願いたします。
0:01:02	はい。北海道電力の高橋です。それでは22日付の基準地震動の策定について、前回審査会合での指摘事項を踏まえた修正箇所を中心にまずはご説明させていただきます。
0:01:15	2020日付の資料、2ページをお願いたします。
0:01:20	こちら前回審査会合での指摘事項とそれに対する回答方針をまとめております。前回会合において、2ページに記載しました指摘をいただいておりまして、それに対し、S s W A Nを上回る周期で最大の応答スペクトルとなる新棟のうち、
0:01:38	前回会合において代表ケースとして選定していなかったケースについては、施設に与える影響が大きという大きい地震動として、代表ケースに選定しまして、基準地震動として設定することとさせていただきます。
0:01:51	これまでの検討内容からの変更点、今回の辺、検討にあたっての検討結果の概要ですね、そちらの方をご説明させていただきます。
0:02:00	5ページをお願いたします。
0:02:03	こちらはこれまでの審査会合における説明経緯等、主要な指摘事項、それらに対応に対する対応方針をまとめております。
0:02:12	先ほどご説明した通り、前回会合においていただいたご指摘に対しまして、検討用地震を検討用地震ごとに基準地震動S s ワンを上回る周期で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	最大の応答スペクトルとなるケースすべてを含む、地震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケースとして選定しまして、基準地震動に設定いたします。
0:02:33	なお、前回会合からの変更概要につきましては、前、前回会合等の選定方法の対比を踏まえまして別紙、29日付の資料になりますけれども、
0:02:43	別紙をご用意しておりますので、後程そちらでご説明させていただきます。
0:02:48	まずは今回の評価の概要についてご説明させていただきます。6ページをお願いいたします。
0:02:55	基準地震動策定にあたっての基本的な考え方を示しております。今回評価にあたって、断層モデルを用いた手法による基準地震動を、
0:03:06	SS湾ウォーマーケースから個別法として設定すること、さらには設定にあたって、地震動の諸特性を踏まえて、検討用地震ごとの代表ケースを基準地震動として設定するという基本的な考え方に変更はございません。
0:03:20	ただし、代表ケースの選定方法について一部、今回は変更してございます。7ページをお願いいたします。
0:03:29	こちらは基本的な考え方を踏まえまして基準地震動全体の設定フローを示してございます。こちらにつきましても変更はございませんけれども、断層モデルを用いた手法による基準地震動の代表ケースの選定方法、
0:03:43	こちらのほうを変更してございますので、それに伴い、生成についてはS s 2-1 から 2-17 まで、基準地震動として設定してございます。
0:03:53	前回会合から変更となりました、断層モデルを用いた手法による基準地震動の設定について、詳細をご説明させていただきます。
0:04:03	8ページをお願いいたします。
0:04:07	8ページには、地震動評価結果全体に対する検討を踏まえまして基準地震動の選定方法を整理してございます。
0:04:16	選定方法の整理結果につきましては、前回会合から大きな変更はございません。
0:04:21	一つ目の整理としまして、エスワンと断層モデルを用いた手法による地震動評価結果との関係について確認しまして、
0:04:30	地震動評価結果全体 104 ケースのうち、SS湾を回るケースが 39 ケースあること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	二つ目に、エスワンを上回るケースについて、応答スペクトルの傾向はKの傾向、主要動の継続時間を確認しまして、検討用地震ごとにそれぞれ特徴があること。
0:04:49	検討用地震の中で、同様の傾向があり、特異な傾向がないこと。
0:04:53	を確認してございます。
0:04:56	最後に、検討用地震ごとに、S s案に対して地震動レベルが大きい報告周期体がそれぞれ存在することを確認してございます。こちら三つの整理を踏まえまして、
0:05:07	基準地震動の設定に関しましては、S sを上回る件ケースから検討用地震ごとに代表ケースを選定しまして、それらをS sとして設定すること。
0:05:18	してございます。しかし、その代表ケースの選定に当たりまして、前回会合でのご指摘を踏まえまして、着目する周期体、すなわちS s湾に対して地震動レベルが大きい方向や、
0:05:32	周期体で地震動レベルが大きいケースに加えまして、
0:05:36	S s湾を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケースすべてを代表ケースとして選定いたします。
0:05:44	具体的な検討用地震ごとの代表ケースの選定につきましては、9ページに示すフローに基づいて選定して参ります。
0:05:53	9ページをお願いいたします。
0:05:56	続いて、検討用地震ごとの代表ケースの選定フローについてでございます。
0:06:02	検討用地震ごとの代表ケースの選定フローについては、大きな変更ございませんが、ステップ2におけます代表ケースの選定方法、こちらの方を変更してございます。
0:06:14	具体的には、ステップ1で応答スペクトルの形状により分類したものの中から、
0:06:20	着目する周期対A S S Yに対して地震動レベルが大きい方向、周期体で、
0:06:26	全体的に地震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケースとして選定するとともに、
0:06:31	S S湾を上回る周期で、最大の応答スペクトルとなるケースすべて、こちらを代表ケースとして選定いたします。
0:06:39	また、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:40	代表ケースと、代表ケースとして選定しないケース、こちらにつきましては、着目する収益を含む3方向の地震動レベルを比較しまして、代表ケースが適切に3、選定されていることを確認すると。
0:06:53	ということと、さらには、代表ケース同士についても同様の比較を実施しまして、代表ケースが適切に選定されていることを確認いたします。
0:07:05	当社としましては、このフローに基づいて、基準地震動を選定することによりまして、
0:07:10	地震動レベルがS s湾に対して大きい方向、周期体で地震動レベルが大きいケースを選定することになりますので、施設に与える影響が大きいケース、こちらが基準地震動として設定されていると考えてございます。
0:07:25	また、代表ケースと、代表ケースとして選定しないケースの取得、さらには、代表ケース同士の比較をしてございます。
0:07:34	代表ケースの地震動レベルが着目する期待を含む3方向で大きくなっていることを確認することで、
0:07:41	水平鉛直の同時入力、評価が必要な施設に対しまして、影響が大きいケースが漏れなく選定されているものと考えてございます。
0:07:51	10ページから13ページに、こちら、これらのフローに基づきました検討地震ごとの代表ケースの選定結果をお示ししてございます。
0:08:01	まずは10ページをお願いいたします。
0:08:05	こちら、尻別川断層による地震の代表ケースの選定結果を示してございます。尻別川断層による地震につきましては、ステップ1までは前回会合と同様の検討結果となっております。
0:08:19	ステップ2においては、分類したそれぞれのグループの中から、着目する周期体で地震動レベルが大きいケース、こちらに加えて、S s湾を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケースを選定してございます。
0:08:34	結果として、分類Aの方から、断層の傾斜角破壊開始点4を、
0:08:40	分類から、前回会合において代表ケースとしました。応力降下量破壊開始点4、こちらに加えて、応力降下量破壊開始点3、こちらも代表ケースとして選定してございます。
0:08:54	また、代表ケースにつきましては、それらが適切に選定されていることを確認するために、代表ケースと、代表ケースとして選定しないケース。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:03	さらには、代表ケース同士の地震動レベルの比較を実施してございまして、その結果、代表ケース①としていますウー断層の傾斜角破壊開始点4。
0:09:15	こちらが、代表ケース②、③としています。応力降下量の破壊開始点34で、対しまして、着目する周期体を含む、3方向の長周期側で地震動レベルが大きいということ。
0:09:30	さらには、S s案を上回る部分で包絡しているということから、代表ケース①の方を基準地震動として設定してございます。
0:09:40	11ページをお願いいたします。
0:09:44	続いて、f s中断層から、岩内堆南方背斜による地震、こちらにつきましては連動断層としてご説明させていただきますが、
0:09:53	これらの代表ケースの選定結果をお示ししてございます。
0:09:57	連動断層についても、ステップ1までは前回会合と同様の検討結果となっております。
0:10:04	ステップ2におきましては、着目する周期体で地震動レベルが大きいケースに加えまして、S S湾で最大の応答スペクトルとなるケース、こちらとしてまして、
0:10:14	5ケースを代表ケースとして選定してございます。
0:10:19	なお、前回会合において、代表ケースとしていました応力降下量の破壊開始点1につきましては、
0:10:26	着目する周期体であります。N S E W、U D方向の長周期側のS sはこちらを上回る周期で、
0:10:35	最大の応答スペクトルにならないということから、施設に与える影響は小さいと判断しまして、今回は代表ケースとして選定してございません。
0:10:45	選定した代表ケースにつきましては、先ほどの尻別川断層と同様に、代表ケースと代表ケースとして選定していないケース、こちらの地震動レベルについて、
0:10:56	着目するスズキたい。でありますN S E W U D方向の3方向の長周期側で地震動レベルを比較しまして、
0:11:06	代表ケースとして適切なケースが選定されているということを確認してございます。
0:11:12	なお、連動断層につきましては、すべての代表ケースが同一の分類から、の代表ケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	そして選定してございますので、すべての代表ケースを基準地震動として設定してございます。
0:11:26	12 ページをお願いいたします。
0:11:29	最後に、積丹半島北西沖の断層の代表ケースの選定結果をお進めしてございます。
0:11:37	積丹半島北西沖の断層につきましてもステップ 1 までは前回の会合と同様の検討結果となっております。
0:11:45	ステップ 2 におきましては、分類したそれぞれのグループの中から、着目する周期体で地震動レベルが大きいケース、こちらに加えまして、S s 案を上回る周期で最大の
0:11:57	応答スペクトル応答スペクトルとなるケース、こちらを代表ケースとして選定しております。
0:12:03	結果としまして、分類 A から 6 ケースを代表ケースとして選定してございます。
0:12:10	また、後程詳細にご説明させていただきますが、分類 B につきましては、着目する周期体で、地震動レベルが大きいケースとして 3 ケースを選定しまして、
0:12:21	さらに、着目する周期体であります。UD 方向の長周期側では、他のケースに包絡されていますけれども、
0:12:30	他の方向であります N S E W 方向、こちらの長周期側の傾向が異なり、地震動レベルが大きくなっている 2 ケース、こちらを代表ケースとして選定してございます。
0:12:42	結果として、分類 B の方からは 5 ケースを代表ケースとして選定してございます。
0:12:49	選定した代表ケースにつきましましては、異なる分類における代表ケースと、地震動レベルをこちらの方を比較しまして、着目する周期の 3 方向のいずれかの方向で地震動レベルがそれぞれ大きくなっていると、いうことを確認してございますので、
0:13:04	選定した代表ケースにつきましましてはすべて、基準地震動として設定してございます。
0:13:10	13 ページをお願いいたします。
0:13:14	こちら、断層モデルを用いた手法による基準地震動の策定結果の概要をまとめたものになりまして、検討用地震ごとの地震動評価結果の個々の比較結果を一覧表の形でまとめてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:27	結果として、設定した基準地震動につきましては、S s 案を上回る 39 ケース、こちらの方から、S s を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる。
0:13:38	いう 3 ケース、全然、前々回会合で候補としては 33 ケースになりますけれども、
0:13:44	こちらの 13 ケースを含みまして、検討用地震ごとに地震動レベルが大きいケースを選定しているということから、施設に与える影響が大きい基準地震動が設定されているものと考えてございます。
0:13:58	続いて検討結果の詳細のご説明の前に、前回開口からの変更概要を、本日付 29 日付の資料となっています。別紙の方でご説明させていただきます。
0:14:12	別紙の方ご覧になっていただきまして、1 ページの方、
0:14:17	お願いいたします。
0:14:21	こちら、前回会合と今回評価の選定方法、さらには選定結果を比較してございます。
0:14:30	選定方法の欄の上段部分に、こちら基準地震動策定に関する基本的な考え方をお示ししてございます。こちらの基本的な考え方については変更はございません。
0:14:43	一方で、代表ケースの選定方法、こちらにつきましては、今回評価で 3 点ほどを変更してございます。
0:14:51	一つ目として、前回会合においては、着目する周期で地震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケースとして選定しておりました。
0:15:00	これにつきましては、S s ワンを上回る一部の周期で最大の応答スペクトルとなるケース、こちらであっても、他のケースで代表できると判断したものにしましては、
0:15:11	一部のケースにつきましては、代表ケースとして選定してございませんでした。
0:15:17	今回評価におきましては、着目する周期で地震動レベルが大きいケース、こちらに加えまして、S s 案を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケース、こちらにつきましては、
0:15:29	すべて代表ケースとして選定することに、選定方法を変更してございます。
0:15:35	二つ目として、前回会合においては、着目する周期の地震動レベルが大きくないものを大きくはないものの、着目する周期体以外の周期で、地

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケースとして一部選定してございました。
0:15:51	今回評価におきましては、着目する周期以外の地震動レベルが大きいケース、こちらにつきましては、代表ケースとして選定しないということに変更してございます。
0:16:03	三つ目として、前回会合においては、検討用地震ごとの代表ケースで、代表ケース同士で比較は実施しておりませんでした、
0:16:12	今回、評価におきましては、検討用地震ごとの代表ケース同士を比較し、代表ケースが適切に選定されているか確認を実施することに変更してございます。
0:16:25	結果として、選定方法 01 の変更に伴い、5 ケースを追加で基準地震動として設定し、選定方法②及び③の変更に伴いまして、
0:16:37	2 ケースを基準地震動として設定しないことに変更してございます。
0:16:43	2 ページをお願いいたします。
0:16:46	こちら、基準地震動の設定結果の変更を検討用地震ごとに一覧表の形でお示ししてございます。
0:16:56	結果として、基準地震動につきましては 14 ケースから 17 ケースに変更となっております。
0:17:03	資料戻っていただきまして、検討結果の詳細についてご説明させていただきます。
0:17:10	資料 20 ページをお願いいたします。
0:17:17	20 ページから 31 ページには、基準地震動の選定方法の整理結果、整理結果、選定フローを示してございます。
0:17:27	選定方法の整理結果については、一部検討結果の表記載表現のみ修正しておりますが、前回会合からの結論の変更はないため、ご説明については割愛させていただきます。
0:17:41	32 ページをお願いいたします。
0:17:47	ここから、検討用地震ごとの代表ケースの選定結果をお示ししてございます。まずは、尻別川断層についてですが、32 ページにお示しした選定フローのうち、ステップ 2 の、
0:18:01	代表ケースの選定結果が、
0:18:03	前回会合から変更となっておりますので、そちらの詳細についてご説明させていただきます。42 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:17	ステップ2におきましては、ステップ1で分類したそれぞれのグループの中から、着目する周期体であります、UD方向の長周期側で、
0:18:26	全体的に地震動レベルが大きいケースを代表ケースとして選定するとともに、S s案を上回る周期で最大の応答スペクトル応答スペクトルとなるウーケースすべてを代表ケースとして選定してございます。
0:18:40	42ページには、分類Bからの代表ケースの選定結果をお示してございまして、分類Bから、前回会合で代表ケースとしました応力降下量は8.4。
0:18:52	色で言いますと、
0:18:54	青色の線ですね、こちらに加えて、応力降下量破壊開始点3、黄色の線になりますが、こちらを代表ケースとして選定してございます。
0:19:05	また、代表ケースとして選定したケース、こちらにつきましては、こちら、それらが適切に選定されていることを確認するために、次のページ以降に、
0:19:15	代表ケースと、代表ケースとして選定しないケース、こちらの地震動レベルについて、着目する周期体でありますUD方向の長周期側だけでなく、
0:19:25	NS、EW方向の長周期を含む3方向で地震動レベルを比較しまして、代表ケースとして適切なケース。
0:19:39	42ページは、分類Bの中から代表計数を選定してます。はい。
0:19:46	はい。
0:19:50	そうです。はい。
0:19:52	こちら、そうですね分類Bの方のご説明を今させていただいております。
0:19:59	はい。
0:20:00	はい。
0:20:02	失礼しました。
0:20:04	分類Bの中での代表ケースを選定してございます。
0:20:10	はい。分類Bの中から確認しまして代表ケースとして適切なケース、こちらが選定されていることを確認してございます。
0:20:21	続きまして44ページをお願いします。
0:20:26	代表ケースと、代表ケースとして選定しないケースの比較結果の1例をお示ししてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	青線で示します代表ケース③と、緑線で示しましたそれ以外のケースを比較した結果、
0:20:40	着目する周期体であります、UD方向の長周期側を含めた3方向で、代表ケース②の地震動レベルが大きくなっております。
0:20:49	また、S sを上回る部分につきましても、代表ケース②で包絡されているということから、
0:20:56	黄色で示したケースにつきましてもは代表ケースとして選定してございません。
0:21:01	代表ケースとそれ以外のケースの比較につきましてもは、検討用地震ごとにそれぞれ同様の検討を実施でございます。
0:21:10	なお、これらの比較につきましてもは、前回会合から大きな変更ございませんが、読みやすさの観点から記載表現の方、一部見直してございます。
0:21:20	50ページをお願いいたします。
0:21:24	尻別川断層の検討結果のまとめとなります。
0:21:29	エスワンうま上回るケースから3ケースを代表ケースとして選定してございますが、それらの代表ケースについて、代表ケースが適切に選定されていること、こちらを確認するために、
0:21:40	代表ケース同士で着目する周期体を含む3方向の地震動レベル、そちらの方を確認してございます。
0:21:48	結果として、着目する集会所を含む3方向で、代表ケース①としました、断層の傾斜角、破壊開始点4の地震動レベルが大きく、
0:21:58	S S湾を上回る部分につきましても、代表ケース①で包絡されているということから、代表ケース①、赤色の線で示したものになりますけれども、
0:22:09	そちらを基準地震動として設定しております。
0:22:13	設定した基準地震動につきましてもは、着目する周期の地震動レベルが大きということ。
0:22:19	他のケースを上回るケースが選定されているということから、施設に与える影響が大きいケースが選定されていると考えてございます。
0:22:29	以降連動断層、尺担当木野副断層について、同様の検討結果をまとめております。
0:22:36	それらにつきましてもは、資料構成がほぼ同様となっておりますので、前回会合からの変更点のみご説明させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:45	54 ページをお願いいたします。
0:22:51	連動断層のステップ 2 における代表ケースの選定結果をお示ししてご ざいます。
0:22:57	連動断層については、着目する集中周期体であります N S E W U D 方向 の長周期側で、全体的に地震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケ ースとして選定するとともに、
0:23:10	S s を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケースすべてを代表ケ ースとして選定しております。
0:23:18	結果として、合計数を代表ケースとして選定してございます。
0:23:22	また、代表ケースとして選定したケース、こちらにつきましては、代表 を、
0:23:28	次のページ以降に、代表ケースと、代表ケースとして選定しないケース の比較を実施してございまして、
0:23:35	代表ケースとして適切適正、適切なケースが選定されていることを確認 してございます。
0:23:42	なお、前回会合におきまして、基準地震動として設定しておりました応 力降下量破壊開始点 1、
0:23:51	ページ、53 ページの方が見やすいかと思いますがこちらの応答スペクト ル図の濃い紫色、
0:23:59	の応答スペクトルとなりますけれども、こちらにつきましては、着目す る周期体で、最大の応答スペクトルとならないということから、選定し た代表ケースよりも、施設に与える影響は小さいと。
0:24:13	判断してございまして今回は代表ケースに選定してございませ ん。
0:24:19	65 ページをお願いいたします。
0:24:24	連動断層の検討結果のまとめとなります。S s 案を上回るケースから、 代表ケースをケース選定してございまして、その 5 ケースにつきましては、 同一の分類における代表ケースとなっておりますので、
0:24:40	すべての代表ケースを基準地震動として設定してございます。
0:24:44	設定した基準地震動につきましては、着目する周期で地震動レベルが大 きいということ。
0:24:50	他のケースを上回るケースが選定されているということから、施設に与 える影響が大きいケース、こちらが選定されているものと考えてござい ます。
0:24:59	68 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:04	積丹半島北西沖の断層の分類Aですね、走向0° 20° ケースの方になりますがそちらのステップ2における代表ケースの選定結果を示してございます。
0:25:17	分類Aにつきましては、着目する周期低でありますN S E W方向の短周期側で、全体的に地震動レベルが大きいケース、さらには、
0:25:27	S sを上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケース、こちらを代表ケースとして選定してございます。
0:25:34	結果として6ケースを代表ケースとして選定してございます。
0:25:39	また、選定しました代表ケースにつきましては、選定していない代表ケースと比較しまして、代表ケースとして適切なケースが選定されていることを確認してございます。
0:25:50	73ページをお願いいたします。
0:25:55	こちらは、尺丹半島北西沖の断層の分類、層厚40度ケースの方のステップ2における代表ケースの選定結果をお示ししてございます。
0:26:06	分類Bにつきましては、着目する終端期待でありますE W方向の短周期側、さらには、U D方向の長周期側で、地震動レベルが大きいケース、さらには、エスワンを上回る周期で最大の
0:26:21	最大の応答スペクトルとなるケース、こちらを
0:26:24	代表ケースとして選定してございまして3ケースですね、こちらの方3ケースを設定してございます。
0:26:31	また応答スペクトル図の薄い水色、あ、失礼しました。薄井碧と、ピンクですね、でお示ししました、断層の傾斜角破壊開始点2と、
0:26:43	破壊開始点4、こちらにつきましては、
0:26:45	U D方向の長周期側で、応答スペクトルが最大となります。破壊開始点3の方を色で言いますと、
0:26:55	水色ですね、水色の応答スペクトルになりますけれども、
0:26:59	こちらとを比較しますと、U D方向の長周期側につきましては包絡されていると。
0:27:05	しかしながら、N S E W方向の長周期側で若干傾向が異なるということ、さらにはN S E Wの長周期側の地震動レベルが大きいと。
0:27:15	ということから、これら2ケースにつきましても代表ケースとして選定してございます。
0:27:21	結果として分類した5ケースすべてを代表ケースとして分類Bの方からは選定してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:28	74 ページをお願いいたします。
0:27:32	積丹半島須江沖の断層の検討結果のまとめとなります。
0:27:37	S s 案を上回るケースから代表ケースを 11 ケース、選定してごさいます。それらの代表ケースにつきましては、
0:27:46	代表ケース導水について比較しまして、着目する周期を含む 3 方向の地震動レベルを比較しているという形になってごさいます。
0:27:56	結果としてすべての代表ケースで、地震動レベルが着目する周期体を含む 3 方向のいずれかの方向で、大きくなるということから、
0:28:05	すべての代表ケースを基準地震動として設定してごさいます。
0:28:11	設定した S s につきましては、地震動レベルが大きいということ、他のケースを回るケースが選定されているということから、施設に与える影響が大きいケース、こちらが選定されているものと考えてごさいます。
0:28:23	76 ページをお願いいたします。
0:28:28	断層モデルを用いた手法による基準地震動のまとめとなります。
0:28:33	こちら、検討用地震ごとに代表ケースを選定し、17 ケースを S s 2-1 から 2-17 として設定してごさいます。
0:28:42	また、設定した地震、基準地震動につきましては、S s を上回る主最大の応答スペクトルとなります 13 ケースを、を選定するとともに、
0:28:52	地震動レベルが大きいケースを選定していますので、施設に与える影響が大きい基準地震動が設定できると考えてごさいます。
0:29:01	以降、
0:29:03	S s の変更に伴いまして、応答スペクトル図、時刻歴は形の方を変更してごさいます。77 ページ以降にお示しを示しておりますので、ご確認ください。
0:29:14	最後に、前回会合で、基準地震動として設定しました 14 ケース、こちらのうち、前々回の審査会合における、基準地震動の候補に該当しないケースの取り扱いについてご説明させていただきます。
0:29:30	87 ページをお願いいたします。
0:29:35	前回会合におきまして、基準地震動として設定しました 14 ケースのうち、2022 年の 10 月の前々回会合において、基準地震動の候補である 13 ケースに該当しないもの、
0:29:49	につきましては、87 ページにお示ししました、尻別川断層一致係数連動断層が 1 ケース。
0:29:56	積丹半島の方が 3 ケースの計 5 ケースごさいます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:01	そのうち尻別川断層をにつきましては、先ほど 50 ページでご説明させていただきましたが、他の代表ケースよりも、着目する周期で地震動レベルが小さいということから、
0:30:13	施設に与える影響が小さいと判断しまして、基準地震動として今回は設定しないということにさせていただきます。
0:30:20	また、連動断層につきましても、
0:30:23	着目する周期、周期体で最大の応答スペクトルとならないということから、選定した代表ケースよりも、施設に与える影響が小さいと判断しまして今回、代表ケースに選定してございません。
0:30:36	一方でシャク半島の方の層厚 40° ケース、傾斜角の破壊開始点 3 ですね、こちらにつきましては、流出されたケースの中で、S s 湾を上回る周期で最大の応答スペクトルとなると。
0:30:51	ということから、こちらにつきましては代表ケースとして選定し、S s として設定させていただきます。
0:30:57	また、先ほどご説明させていただきましたが、40 度ケースの破壊開始点 2 番、さらには 4 番につきましては、
0:31:05	着目する周期体であります U D 方向の長周期側においては最大の応答ステップとなっておりますが、
0:31:13	N S E W 方向の長周期側において他の代表ケースと傾向となるということ、さらには地震動レベルが大きいということから、施設に与える影響が否定できないと。
0:31:23	考え、代表ケースとして選定し、今回は基準地震動として設定させていただきます。
0:31:29	一覧表の右側にそれぞれの検討結果の該当ページをお示してございますので、後程ご参照ください。
0:31:36	資料のご説明については以上となります。
0:31:46	入ったんです。それでは確認に入りたいと思いますけど、
0:31:51	何か結果だけを見ると、
0:31:57	シンプルな話に見えるんですけど、いろいろと何か途中よくわからないことが出てきてしまって、
0:32:04	何かわかりにくくて、まず、混乱した理由としては、前は代表ケース = 基準地震動ってしてたのが、今回は代表ケースっていうのは、基準地震動を選定する。
0:32:18	途中段階の話なんだと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:20	というようなことを、何か説明になってて何かその辺がね、
0:32:26	まずよく、
0:32:28	伝わらない例えば 13 ペイジー、
0:32:33	D、
0:32:38	この代表ケース検討概要のこの選定結果っていうのをこれを見ると、あたかも何かこう、
0:32:46	これイコール、基準地震動になってるような、
0:32:50	この概要の終わりがこうなっていると、何かすごくこうわかりにくかったんで、
0:32:57	だから代表ケースっていうのはどういうもんなんだと、その中から、基準地震動を選定するんだっていうふうに、もうこれ変え、前回の、
0:33:07	会合の説明と変えてることだと思うので、それ変えてるんだったら変えてるって言って、はっきり、
0:33:13	言って欲しいなど。
0:33:16	思います。
0:33:18	で、
0:33:22	ちょっとこの、
0:33:24	変更概要っていうので、確認を始めたんですけれども。
0:33:31	選定方法として変えましたよっていう、
0:33:35	ところが、この①②③って書いてあるんですけれども、
0:33:41	何か補
0:33:43	ここでは書いてるんですけど、本編になるようなところで、
0:33:48	何か書き方としてまだ十分対応してないのかなっていう。
0:33:54	というのが、感じてます。レセンテ後手方法っていうのは、もう基本的な方針なので、それははっきり書いて、
0:34:02	もらえたらなと思ってるんですけど具体的に言うと③とかいうのは、
0:34:07	本編の資料でなんかアスタリスクでこうちょろっと書かれていたりとか、何かその辺がですね。
0:34:13	何か基本方針って何なんですかっていうのが何か本編を見るとわかりにくっていうのが、
0:34:20	まずあったのでその辺は
0:34:25	はっきりしてもらおうっていうことでいいですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:32	北海道電力の高橋でございます。谷さんおっしゃられてるように概要の方ですね、別紙の方の概要につきましてはかなり詳細に記載してございます。
0:34:42	それらについて本編、今回、本編になるもの、9ページになるか、なるうかなと思います。
0:34:49	9ページの上段の部分代表ケースの選定ということで記載してございますので、そこの部分に、わかりやすいように、資料の方を修正したいということで考えてございます。以上です。
0:35:03	はい、お願いします。
0:35:04	あとはですねこのなんか選定方法-010203って書いてるんですけど、これなんか足りてないのが、
0:35:14	何ですかっていう部分が足りてないかなと思うんですよ例えば①番って、
0:35:21	S s 1 を上回る周期体で最大等と、最大となる応答スペクトルはすべて選定ってこれ、会合で言われたから選定するんですよっていうふうにし
0:35:32	取れなくて、北海道電力として、こういうのが施設への影響の観点からどういうふうを考えて選定してるのかっていうのをですね。
0:35:43	考えを変えた理由って何なんですかって言うのが、
0:35:47	今のこれでは、
0:35:50	指摘されたからふやしましたっていう、
0:35:53	説明にしかかってないかなと思って。
0:35:58	それ何か加えらしたらどういう説明になるんですか。なぜ。
0:36:03	いや、ただ単に会合で言われたからこうしたんですっていうだけでやったらそそれでも答えとしてはいいんですけども、
0:36:10	いいというか、1回、確認できるんですけども、ここの辺の考え方を確認させてください。
0:36:19	はい。北海道電力の高橋でございます。選定方法今回変更してございます。①については、最大となるケースを今回追加するということになってますけれども、
0:36:30	前回会合から今回変えた理由につきましては、S s を超えるものにつきまして、最大になる、なるのケースですね、そちらにつきましては、
0:36:40	施設影響が否定できないと、最大になってますので、否定できないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:45	ということから、今回は追加するというようなイメージの文言、理由ですね、の方。
0:36:51	追記したいということで考えてございます。
0:36:55	二つ目につきましては、こちらにつきましては、前回、
0:37:01	会合におきましては、地震動レベル、着目する周期ですね、そちらの地震動レベルを確認するとともに、その他の周期体についても確認してたと。
0:37:12	ということになってございますけれども、基本的にその他の周期体につきましては、S sはに包絡されているということ踏まえまして、地震動レベル、施設に与える影響としては、着目する周期体の地震動レベルを確認すると。
0:37:27	ということが、基本だろうと。
0:37:30	ということで考え、今回は選定方法の方を変更していったという形になってございます。
0:37:36	さらに最後ですね、代表係数同士の比較についてですけれども、こちらにつきましては前回会合、代表ケース同士を比較してございませんでした。
0:37:46	それら最初に分類をかけているというところもございまして、それら代表ケースについても、きちんと適切なものが選定されているかということを確認するために、
0:37:57	代表ケース同士を比較した方がいいだろうということを考えまして今回変更したということになってございます。
0:38:05	そ、それが変更した理由ですね。
0:38:08	そちらにつきましては資料の方を盛り込んでいきたいということで考えてございます。以上です。
0:38:16	はいたんです。私の言ってるのは考えがはっきりするよということなので、今の考えは一応聞いてん。
0:38:25	そう考えてるなっていうのを確認できましたのでそれ資料上は記載していただけたらと思います。そうなるかとですね、02。
0:38:35	②の部分でそういう考えに変えたって言うんだったら、例えば尻別川とか、こここれはちょっと感想みたいな話になるんですけど、
0:38:46	最初二つに分けて、さらに最後に③で比較する。
0:38:52	②で変えてるんだったら、そもそもこれって別に二つに分ける必要なかったとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:58	そういう整理になりそうな気もして、
0:39:00	これちょっとまた後で確認、
0:39:05	するのかなと思うんですけども、何か②と③の関係がですね、
0:39:13	案、あんまりこう、尻別川に関してはちょっと私はしっくりきてない。
0:39:20	かなと思っています。
0:39:23	で、
0:39:26	ちょっと事実確認からなんですけど、
0:39:29	今回ですね、選定結果としては、
0:39:33	最大となるものを、
0:39:38	S s 1 を上回る周期体で最大になるものは、4 ケース追加したっていうことでいいんですよ。
0:39:45	4 ケース追加して、
0:39:48	違ってたりしてくださいね。
0:39:52	ほかで1 ケース。
0:39:55	追加されてると。
0:39:57	で、代表ケースとして正味5 ケース追加したんだけど、
0:40:03	代表ケース同士を比較して、
0:40:07	それを、
0:40:09	2 ケース減らしたと。
0:40:12	これって何かよくわかんないんですけど、最大となるものを4 ケースふやしたし、前回会合から、
0:40:20	選んでたものを1 ケース減らしたっていう
0:40:24	本当はシンプルな構造なんですよね。で、
0:40:28	こここれをちょっともう少しこうふやしたのが、どれでどういう理由で減らしたのはこういう理由ですっていうのを、
0:40:36	何か2 ページで、
0:40:38	もう1 回ちょっと説明してもらっていいですかこの中で、青で書い。
0:40:46	赤、赤で説明してるのか。
0:40:51	ふやしたっけ、最大になるから増えたっていうやつですかね。
0:40:55	ちょっとこれももう少し
0:40:58	説明してください。
0:41:00	はい。北海道電力の高橋でございます。
0:41:04	再三おっしゃられるように2 ページの中で、赤字で書かれたものですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:11	につきましては今回、代表ケースとして新たに選定しているものという形になってございます。具体的に言いますと約半々等、
0:41:21	失礼しました連動断層ですね、まず連動断層の破壊伝播側道の破壊開始点 6、こちらにつきましては、座ん上回る周期で最大となるところがございありますので、こちらの方を代表ケースとして追加で選定していくと。
0:41:37	さらに積丹半島の 0° ケースのうち傾斜角の一番 4 番、こちらについてもチャンピオンケースになるということから、今回追加したもの。
0:41:48	さらに、A 社、層厚 40 度ケースのうち、
0:41:54	断層の傾斜角の下、破壊開始点 1、破壊開始点一番ですね、こちらと、
0:42:00	応力降下量の破壊開始点、2 番、さらに破壊、傾斜角の破壊開始の 3 番ですね。
0:42:07	こちら三つにつきましてはチャンピオンケースになりますので今回新たに追加したものという形になってございます。
0:42:22	すいません。すいません破壊開始点 3 番につきましては、もともとチャンピオンで選んでいるものという形になりますので、傾斜角の一番と応力降下量の 2 番ですね。
0:42:34	こちらを追加で選んだものという形になってございます。
0:42:39	なおその合計数のうち、4 ケースにつきましては、
0:42:48	13 ケースですね、13 ケースの
0:42:51	チャンピオンケースになるものに該当するものとなっております。ただし破壊層厚 40 度ケースの傾斜角の一番、
0:43:01	こちらにつきましては、
0:43:02	積丹半島を分類したことによって、チャンピオンケースになってきているものという形になってございます。まずは追加したものについては以上。
0:43:17	という形になってございます。で、さらに今回選んでいないものにつきましては尻別川断層の応力降下量の破壊開始 4 番、こちらにつきましては代表ケース同士の比較によって、今回は代表経営代表ケース S S は、
0:43:35	して選定してないと。
0:43:36	いうものになってございます。
0:43:38	さらに、連動断層の応力降下量の破壊開始点 1 番、こちらにつきましては、着目する周期体、の 3 方向の確認によって地震動レベルが小さいということから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:52	今回は代表ケースとして選定していないものという形になってございます。減らしたものについては以上2点になってございます。
0:44:05	荒谷です。えっとですね大分それで混乱してしまうんですけど、
0:44:10	ントを元にたどって行って、
0:44:17	S s 1 を上回る周期体で最大になる。それは、応答スペクトル法で作ったすべてのもののうち、最大になるもの。
0:44:28	から、
0:44:29	増えたのは4ケースなんだけど、
0:44:33	分、
0:44:34	分類をしたことによってその分類の最大みたいなのを今度見つけてきたという、少しく、
0:44:41	難しい。
0:44:44	やり方をしてるのかなあ。
0:44:51	長ナグラです。
0:44:52	分類なんだけど、検討用地震ごと、
0:44:57	かつ分類ごと、
0:44:59	2、分類ごとというよりも検討用地震ごとに、
0:45:03	エスワンを超える方向もしくは周期体で、最大のをそれぞれの検討地震の中で拾っているから、
0:45:15	だから66ページのところの、
0:45:20	代表実ステップツの、
0:45:27	上から一つ目、代表ケース7と三つ目の代表ケース9。
0:45:33	これこれが
0:45:35	何だ、エフエフワンを上回るところの周方向周期体で最大となるものとして抽出され、追加で中止されたっていう理解。
0:45:46	したんですけどそれでよろしいですか。
0:45:49	はい。北海道電力の高橋です。藤ナグラさんおっしゃられたように、基本的には検討用地震ごとに分類、検討用地震ごとのチャンピオンケースを選んでいきますという形になってますので、
0:46:04	概ね、その方向でよろしいんですけども、層厚40度ケースの破壊開始点一番、
0:46:12	につきましては、こちらにつきましては分類をした。
0:46:16	後にチャンピオンケースになるものという形になってございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:28	はい。北海道電力高橋です。破壊開始点3につきましては、UD方向でチャンピオンケースになるものとなってございますので、
0:46:38	こちらにつきましては、分類前、検討用地震ごと全体を見た場合でもチャンピオンケースになるものという形になってございます。
0:46:59	すいません。北海道電力の佐伯ですけれどもちょっと2ページの見方をちょっと改めてご説明させていただきたいと思います。
0:47:07	まず第1117回審査会合と書いてるところで基準地震動って書いて記載しているものが前回選んでいたもの。
0:47:16	今回と書いているところと書いてるのが今回選んでいるというものになります。それで差分としましては、白抜きになってるものがピンクになってるもの、もしくはピンクになってるものが白抜きになっているものと、
0:47:28	いうものが、最終的に選ばれたものとして変わったものという形になってございます。
0:47:35	また、備考欄のところで、頭に追加と書いてるものが、こちら前回会合で選んでいなくて今回選んだものと、
0:47:45	ということでこの追加のケースというのが、合計5ケースという形になってございます。
0:47:52	で、一番右側に最大ケースというところで二重マルついているもの、こちらが13個ニジュウマルついでございます。すべての検討用地震の中で最大のもの、
0:48:05	は13ケースというものがこちらという形になってございます。
0:48:09	で、先ほどから話出ております積丹4粒度の破壊開始点1と、
0:48:15	いうのは、分類したケースの中で、衛藤SS1を上回る部分が最大ということで、ではあるんですが、ありますと、で、前回選んでいなくて今回選んでいるというものになります。
0:48:29	破壊開始点3につきましては、こちら分類したケースの中で最大となるんですけども、前回も選んでおりましたので、今回追加という形ではなくて引き続き、
0:48:40	選定するというような形で、
0:48:44	110-0、普通は丸がついていると、いうような形でこの資料を作成してございます。
0:48:54	はい規制庁佐口ですちょっと今のご説明聞いてある程度わかったんですけどちょっと細かいことをお聞きすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	この 00 っていうのの位置付けが、
0:49:09	要は検討用地震として最大のものになるのか。
0:49:16	いや、検討用地震としては実は最大にはならないんだけど、
0:49:22	その中でさらに分類をしたことによってその分類の中では最大になるのかっていう、その違いが実はよくわからないっていうのでちょっと確認させてください。
0:49:36	はい。北海道電力の高橋です。
0:49:38	今の 2 点ですね 40 度ケースの傾斜角の一番と 3 番でございます。傾斜角の一番につきましては、こちらは分類した後、
0:49:52	2、チャンピオンケースになるものとなります。
0:49:56	傾斜角の 3 番につきましては積丹半島全体、検討用地震としてのくくりの中ではチャンピオンケースになるものという形になってましてここ同じ丸になってますけれども、
0:50:09	若干、意味合いが少し違うという形になってございます。
0:50:15	はい。規制庁佐口です。わかりました。どういうものかというのはわかりましたので、なのでここちょっと、
0:50:23	一律 0 とかっていうのが本当にいいのかどうかというわかりやすさの観点ですけど。
0:50:28	ていうのはちょっと何か工夫していただくなりをしてください。ちなみに、
0:50:34	この層厚 40° ケースの断層傾斜角の不確かさの、
0:50:42	赤井甲斐線 2 と赤い回転 4 っていうのは、
0:50:46	これはおそらく本編の 73 ページにあるような形で、
0:50:51	マーチャンチャンピオンというか、最も最大な 2 ケースにならないんだけど、
0:50:57	このスペクトル形状っていうのが、いわゆるその代表ケースと、
0:51:02	異なっているので、これは 3 成分という、
0:51:06	ことを考慮すると、
0:51:09	施設への影響の観点からも、
0:51:12	選定しておく方がいいだろうということで選定されたという理解でよろしいですか。
0:51:19	はい。そうですね。澤さんおっしゃられるように、これの計画 2 番 4 番については N S E W 方向の長周期側こちらの方で、代表ケースと傾向が異なると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:31	いうことを地震動レベルがさらに大きいということから、
0:51:35	今回は代表ケースとして選定しているという形になってございます。以上です。
0:51:41	田井さん。
0:51:44	規制庁の名倉です。
0:51:48	今回ちょっと表を突かれたのは、正直に言ってしまうと、
0:51:52	私たちのイメージでいくと、分類する前に、
0:51:59	断層モデルによる地震動とS s 湾を比較して、
0:52:03	それであるを超える周期体、S s 版を超える一部方向一部周期体において最大の応答スペクトル、それをまず最初に選んでしまう。
0:52:12	ということをやってくるのかなと。
0:52:15	それをやった上で、こういうタイプ分類をした上で、今回非常に重要なと思ったのは9ページの、
0:52:24	黄色い四角書きの、
0:52:27	二つ目の矢羽根。
0:52:33	水平方向及び鉛直方向の同時入力評価が必要となる施設に対して影響が大きいケース。
0:52:40	これを漏れなく選定する。それが、
0:52:47	同じく9ページの
0:52:50	上の四角のなお書き。
0:52:54	これをやることによって達成される。
0:52:57	のかなって思っていて、ということは、やっぱりスペクトルのタイプを分類するっていうことは分類AとかBとかやってることについては、この
0:53:08	同時入力評価個別ウーはによる評価をやるものに対しての影響が大きいものを拾いますと、
0:53:16	これが代表は、と同じぐらい影響が大きいものを拾うという意味においては、タイプ分類することは検討地震ごとに大部分類してやるっていうことに対しては、
0:53:26	これは確かにそうなのかな。
0:53:29	だからそういう意味で流れってどの、どの段階でどういうことをやるかによって流れが変わるんだけど最終的な結果もしかしたら変わんないかもしれない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:38	というのはこの後から提出してもらった2の、今議論になった、走行積丹半島北西沖の層厚40度ケースの、
0:53:48	断層傾斜角ウーの
0:53:53	不確かさケースの破壊開始点1藤さんが、実はこれは分類Bとか、検討地震の中で見た場合に、一部超える周期体において最大のものとして注意されるんだけど、
0:54:07	結局そのそれぞれの二つってというのは、結局、水平方向鉛直方向同時入力の評価の観点からしたら影響大きくなる。
0:54:16	という、カテゴリーというか判断でも多分選ばれるんだらうなって思うんですけど。
0:54:22	すいません本私がちょっと今回本当に、
0:54:26	本当にちゃんと選んでるって思ったのは、
0:54:29	この9ページの四角の二つ目のレ点、これの観点で本当に漏れなく本当に選んでる。
0:54:36	あれなんかS sに結構逼迫してるやつで加速度値がでかいやつとか、そういうのって拾ってないのが若干あるようなふうに見えるんだけどねって思ったんだけど。
0:54:52	おそらく、積丹半島北西沖ウー方向40度ケースについては、ほぼS sを超えたり逼迫してエスワンを超えたり逼迫したりして、
0:55:03	実際個別評価したら、影響が出てくるかもしれないものっておそらく拾えてるんだけど、
0:55:09	実はシリア別で二つオミットした中の1本とか、あとf s中の、この連動ケースのうち、N-SかE W N S方法かな。
0:55:20	短周期側でちょこっとS sに逼迫してるやつで加速度値を規定してるもの、最大加速度。
0:55:26	それを、1ケースぐらい、1ケースか2ケースもしかしたらオミットしちゃってんだけどそれ本当にいいのっていうふうにはちょっと見えなくてもないな。
0:55:35	と思いました。
0:55:37	そういう意味で、非常に重要なのは、御社としての安全側の考え方と施設への影響として、個別版による詳細評価を実施した場合に、
0:55:49	代表はと同じぐらい影響があるものもしくは代表はお超える影響がある可能性があるもの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:55	これは、長周期だけじゃなくて短周期を見た上で、加速度値とかこれ大きそうだなっていうのを、
0:56:02	じゃあ拾ってるかどうか。
0:56:04	という意味では、そこを追求するというかうたい文句にするんだったら、やっぱり、
0:56:12	うん、もしかしたらもう一、二ケース増えるかもしれないんだけど、
0:56:16	もしくはもしくは昇降 40 度ケースのところでも 1 ケースか 2 ケース減るかもしれない。
0:56:21	だからちょっとそこら辺のチューニング、いつの段階でまず網掛けをするのかという話と、何を選ぶ本当に独自色を出して W としたら何を選ぶのかっていう考え方。
0:56:36	そのところがちょっとクリアじゃない。
0:56:39	すいませんたかったのは 9 ページの、
0:56:41	黄色の四角の二つ目のレ点。
0:56:45	これはどういうふうに判断してるんですか。水系方向鉛直方向の同時の評価が必要となる施設に対して影響が大きいケース。
0:56:53	というのは、その上の白い四角の一つ目の比較のなお書き。
0:56:58	のところで、3 方向を見て、どういうふうに判断をしてるのかっていうところをちゃんと
0:57:04	教えて欲しいなっていうちょっと思いました。
0:57:08	すいませんちょっと言いたい言葉バラバラバラって全部言っちゃったんだけどすいませんたいな。
0:57:14	意識はちょっと問題意識は伝わったのかなと思いますけど、そこはいかがですか。
0:57:23	はい。北海道電力野尻です。今の数、後段ですね名倉さんおっしゃられた、
0:57:29	もれなく選んでいるのかっていうところで、例として挙げられた尻別川なりフェイズ住家の連動断層の短周期側の N S なり E W でちょっと S s 1 に、
0:57:41	近づいてるやつはあると。
0:57:42	いうのは
0:57:43	前回会合等までの資料の中でもそういうような意識を持っていたんですが、あくまでも、このフロー、9 ページですね今回の資料でいう 9 ペー

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ジにも書いておりますけど着目する周期タイマーちょっと表現を着目する周期と書いてますけどS s 1を上回る部分が入っている周期体。
0:58:01	この3方向っていう整理をしておりますので、あくまでも短周期側尻別川でいうと短周期側のN S E WアップダウンというのはすべてS s 1に包絡されている状態。
0:58:12	なっていると、ということなのでそちら側に、
0:58:15	着目するんじゃないくてあくまでも長周期側、
0:58:18	の影響というのを3方向で見ると整理していると。これ連動も同じですが、
0:58:23	短周期側というのはS s 1に包絡されているということで施設影響はあくまでもS s 1でまずカバーできていると。
0:58:30	それからS s 1を超えている部分の長周期側については断層モデルとしての3方向の影響もしっかり見るっていうことで、この9ページ上の箱のなお書きであり下の、
0:58:41	黄色い箱の二つ目の矢羽根ですね、のところを網羅するっていう整理をしているというつもりで今います。
0:58:49	規制庁の名倉です。
0:58:52	そこを明確に、
0:58:56	かなりクリアに宣言した方がいいんだけど、
0:58:59	これはどこでコントロールするかって8ページの③のところ、
0:59:05	②って実はこれもしかしたら不要かもしれなくて、
0:59:10	これ今までやってきたんだけど御社はある限り経営継続時間とか、時刻歴は系の包絡形状、
0:59:19	そういったところとか即時どっちだけを見て代表性は議論できないって言ったんで私たちもこれ、
0:59:25	無理かなと思って、もう指摘しないようにしてたんだけど、
0:59:29	この②って実はもう不要かもしれなくて③で、分析した結果がどこだったっけ、このページ載ってるんですけど、
0:59:43	30ページですね。
0:59:45	実は22ページでも同じような分析してて、これは加速度値、加速度値とかではS sを超えるところ、S s万を超えるところではなくて、
0:59:56	山のところがどこにピークがあるかってことを書いてんだけど22ページこれ、逆にこれ迷ってしまって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:03	これやると見方が-3方向で見たときにこっちで見てんのかなと思ってしまったんですけど実際は30ページの方。
1:00:10	で見てるんであれば30ページだけでいいかなって、これが重要なのかなって、この周期体に、整数を超えてる周期体。
1:00:18	における関係を見ながら、水平鉛直同時入力、
1:00:24	の影響を見ました。
1:00:26	ということであれば、さっきの3方向で比較しましたっていうところが不正確だと思うんですね。
1:00:32	そういう意味でどこのどの周期対方向と周期体に着目して、
1:00:38	個別施設への影響で選びましたっていうことを、ちゃんと宣言した時に今のもので、過不足なく選んでいるかどうか。
1:00:48	という説明をちゃんとすべきかなって思いました今日聞いて、ある程度は理解できたんですけど、あとは全体の流れをどう整理するか、わかりやすい。
1:00:58	いろいろ質疑が繰り返されたっていうのわかりにくいってことなんですけど、それをどういうふうに全体をわかりやすい論理構成で整理をするか、まだ論理構成としてはわかりにくい状況なので、
1:01:10	うん。そこをどう改善するかっていうのを、短期でやっていただけたらなあというのがちょっと今日私自身が思ったことです。
1:01:19	はい。北海道電力の神ですそうですね今、後段でおっしゃられた方、我々の資料として一応考えを書いているつもりではあるんですけど方向とか周期とかしっかり見てるところをクリアに書く。
1:01:31	ということそれを施設影響の観点でそういう整理をしてるっていうところはしっかり、
1:01:35	整理したいと思います。それと最初に言われたチャンピオン最初に13係数のチャンピオンでいくのか、もしくは今回ちょっとそういうことじゃなくて検討用地震ごととか分類した後に、代表選手を選ぶっていうふうに行っているところが、
1:01:49	ちょっと、
1:01:50	前回の会合からあまりシナリオを変えずにというか、いうところもあってそこを最初に13ケースのチャンピオンと選んでいくと、この検討用地震ごととか分類するっていうのが、
1:02:03	ちょっと出てこないなというのもあって今そこを変えずに今やっていたんですけど逆に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:09	全体でとにかく周期体をカバーしてチャンピオンを選んでいると、いうことがまず施設影響の大きいものの、
1:02:17	一番気になるところでそれ以降に、落穂ヒロイじゃないですけどしっかりとそれ以外の施設影響があるものっていうのを検討用地震ごとなり、
1:02:25	で見ていくっていうことになるので、
1:02:29	これ分類をしてるんですが結局、我々、あくまでも S s 1 を上回る周期体で見ていくんだとするとちょっと途中の議論にもありましたけどその分類をする必要性があるのかっていう曲げ、
1:02:41	分けることでよりわかりにくくなってるといところもあるような気はしてますんで、もしかするとそこを分類せずに、代表選手を検討用地震ごとで見てやるっていうことはするとしても、
1:02:53	分けないほうがいいのかなっていう今、ちょっと気がしておりますいずれにしてもちょっとそこもしっかり整理はしたいと思います。
1:03:00	以上です。
1:03:06	名倉です。ステップワンで分類すること、折半とか分類することに対して、例えばシリー。
1:03:15	尻別川のところ、
1:03:17	言ったら、やっぱりグルーピングはやっぱりあるのかなって N S とか U D の
1:03:24	特徴とか見ると、これ分けてることに対して、全く否定するようなものでもないのかなっていう見方をしてます。
1:03:32	あとはもうもう一つの方、それがどうかってのはまだ見てなくて、何ページだろう。
1:03:43	うん。
1:03:45	ここのところが、
1:03:49	66 ページのところまで分類してますけど、
1:03:53	この分類ごとの比較ってのはどこを見ればあるんですか。
1:03:58	北海道電力ノジリです 67 ページ。
1:04:02	があってこの中で今、三種類ですな層厚 02040 という色分けをしてますけどこれの、
1:04:10	キー黄色というんですかね、のやつが 40 度ケースのあそこと 020 っていうのを仕分けているということで断層範囲はによってはちょっと違うところもありますけど大きな傾向としては、
1:04:22	特に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:23	UD方向の長周期側の違い。
1:04:26	ですね、とあと水平方向も若干違いますけどそこを黄色っていうのが特徴的だということでそこを2分類にしているというものです。
1:04:34	うん。
1:04:36	規制庁名倉です。うん。わかりました。これはだからUDのS s ワンを要は超える周期体として、長周期を、
1:04:46	メインに超えているのが、
1:04:48	40° 方向ですかね。
1:04:51	うん。
1:04:51	だからこれも理解できるんですけどだから、これを分類するっていうことに対しては、
1:04:58	個別版による影響、
1:05:01	個別はによる評価を実施する施設に対しての影響の観点で成層超えるところに、の周期体に対して、特徴があるものに分類しましたっていうことであればそれは意味があるのかもしれない。
1:05:17	それは論理構成上どういうふうに説明するかだと思います。
1:05:23	着目点。
1:05:24	含めて、
1:05:28	あれマイク入ってますよこれ。
1:05:31	うん。
1:05:39	規制庁サグチ先生五味さんの67ページに今今3色使われているので、グループというか分類AとBがですねわかるように例えば分類Aは、
1:05:50	同じような、
1:05:52	色、今赤と青で、
1:05:55	何か別々の色になっているのでこれ赤青バーサス黄色だと思いますので、ちょっとそこわかるようにしていただければと思います。
1:06:05	はい。北海道電力野尻です。はい67ページの色分けについては、いま1度2分類にしていますんでその分け方で整理をさせていただきます。その前段、名倉さんおっしゃられたところ
1:06:18	イメージはわかりましたっていうとあれですね
1:06:21	入口としてはあくまでも前、前結果の中の最大ケースというのが施設影響の大きいものただそれ以降を
1:06:30	個別評価するっていう際には検討用地震ごとなのかもしれないもしくは分類ごとなのかあ、それからその中の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	S s 1 を超える 3 方向の関係を見るってということで、個別を拾うって うのがちょっと今イメージはそういうふうになるんですがそれが資料上 うまく整理できるかってのはちょっと今、
1:06:48	イメージがしっかり整理できてませんがちょっとその考え方の、
1:06:52	認識は何となくできました。ありがとうございます。
1:07:01	谷です。
1:07:05	衛藤ですね。なんか今の話今のやりとりを聞いてたら、今回のヒアリン グ 1 回で会合までいけたらなっていうか、思ってたんですけど、確認、 事実確認少し細かいところまでして、
1:07:20	ただ、なかなか私も勘違いしてたところも実際ありました。もう少し考 え方を変えているようなところもあるんだなっていうのがわかってて、
1:07:31	だからちょっとここ話が
1:07:34	少し何て言うんすかね。
1:07:38	変わるのであれば今あまり細かい話をしてもしょうがないかなって思っ てきたところで、
1:07:45	ほんで、
1:07:48	お願いというかですね
1:07:52	したいところとしては今回例えば
1:07:55	この
1:07:56	1、1 枚ペラを追加していただきましたけど、やっぱり用語がですね、
1:08:02	何か、
1:08:04	統一してなかったり、
1:08:08	説明の途中が抜けてたりするようなことを感じてますんで例えばです けど、
1:08:15	基準地震動の選定結果の 1 ポツで書いてますけど、
1:08:20	前回選定していなかったもののうち検討用地震ごとの最大のケースって この最大のケースって裸で使っても何なのかなっていうのがわからな かったり、
1:08:31	実はこれ基準地震動の説明にいきなり入ってるんですけど、代表として は、5 ケースじゃなくもっと 1 回、1、もう 1 個ですか、もう、
1:08:42	もう二つですか、代表としてはもっとふやしてるけど、その中から、5 ケースでこれ方法①と対応させて説明してるから方法①って、あくま で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:54	代表ケースの説明をし、してる話であって、基準地震動を説明する話じゃない。
1:09:01	ていう中でここでまず混乱してしまうと、こうやって代表として選定されたのは、これだけ増えましたんでこれこれが減りましたとかいうとちょっと順番を追って説明してもらわないと。
1:09:14	よくわからなかったなど。
1:09:17	いうところです。で、
1:09:22	あとは先ほど言いましたように選定方法ってこちらに書いてるのに、資料上で、方針としては、よくわからないと。
1:09:33	やっぱりですね、この例えば 10 ページで書いて 10 ページのように、
1:09:40	ここの説明代表を説明している。
1:09:44	中出。
1:09:48	で、最後のこの黄色の四角の中で基準地震動としては、
1:09:53	これ、①だけを選定するっていう説明してて、何かこう、イメージがこうは合わないんですよいや、
1:10:04	言いたいことは今わかってるんですけど、
1:10:07	そこをわかりやすい資料にさせていただきたいんだ、だからフローフローではこっからさらに
1:10:15	代表ケース同士を比較してるんでしょう。今のところ、
1:10:19	それはフローで書いてもらわないともうわかんないかなと思います。ただ、少し、先ほどの説明順みたいなのも抱えてくるということになってくると、
1:10:31	また若干変わってくるのかなと。
1:10:34	いうのは、
1:10:35	思いました。
1:10:37	あともう少し細かく説明して欲しい点としては、この
1:10:43	1 枚ペラの 2 ページの、
1:10:47	尻別川をこれを選定しないっていうのは、
1:10:51	わかったんですけども、ここの
1:10:55	二つ目の f s 中のところの、
1:10:57	代表に選定しない、前回選んでたけど選定しなかったものっていうのは、
1:11:04	ここでさっき説明あったかもしれないんですけどもう 1 回説明してもらっていいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:13	はい。北海道電力の高橋です。連動層の大利効果量は甲斐甲斐 1001 について、
1:11:20	ということだと思いましたが、
1:11:22	こちらにつきましては前回会合におきましては、
1:11:28	N S E W方向の O O。
1:11:34	今回ですね今回、か、今回の評価におきましては、着目する周期体であります N S E W U D 方向、
1:11:43	そうですね
1:11:46	ページで言いますと、
1:11:56	54 ページになります。
1:12:00	こちら選定しているものをお示ししているものになってございますけれども、この中で今回、評価におきましては着目する周期体としまして、
1:12:11	N S E W、U D 方向の長周期側、こちらのほうを着目していると。
1:12:17	ここの地震動レベルを確認しに行った場合に、応力降下量の一番につきましては地震動レベルが小さいということから、
1:12:29	他の代表ケースの方が、施設に与える影響が大きいということで今回は判断しているという形になってございます。
1:12:37	従いまして応力降下量一番については他のケースよりも横切に与える影響が小さいと判断し、今回は代表ケースとして選定していないという形になってございます。
1:12:49	なお、前回会合におきましては、着目する周期であります長周期側、こちらの地震動レベルに加えまして、N S E W 方向の短周期側の地震動レベルレベルが大きいと。
1:13:03	ということから、前回会合におきましては
1:13:07	代表ケースとして選定してございましたけれども、こちらにつきましては、S s はに今包絡されてるということを踏まえまして今回は選定していないという形になってございます。以上になり、以上になります。
1:13:31	谷です。ちょっと説明が頭に入ってこなかったんですけど。
1:13:35	それは、
1:13:39	尻別川の応力降下量で今回外したっていうのと、
1:13:44	話が違うんですね
1:13:47	ロジックが違う外し方をしてるんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:53	北海道電力の高橋でございます。基本的な考え方としては同じになるのかなとは思ってまして、尻別川につきましては代表ケースとしては分類の中からは、
1:14:04	選定されてはおりますけれども、それらを代表ケース同士で比較した時に着目する周期体の地震動レベル、こちらの方を比較しまして、
1:14:14	代表ケースにしないと、基準地震動にしないという形をとってございます。なので基本的な考え方としては、着目する周期の地震動レベルを見に行くというところにつきましては、同じ根本的に同じ考え方のもとで選定していく。
1:14:30	いう形になります。だから、この2ページで書いてるのは、代表として1回選定してるかしていないかっていうのが違うんだよっていうことを言われてるってことです。はい、わかりました。
1:14:43	既設のナグラです。
1:14:45	これがですね、ちょっと私、施設への影響の観点でお聞きしたい。60ページですよ。具体的にページで言うと、
1:14:56	今回の応力降下量破壊開始点1の、このケースを今オミットしたことに対しての理由としては、
1:15:03	S s を超える周期体に着目した場合にオミットできるだろう。
1:15:08	このときに、ちょっとやっぱりこれを見てあれって思ったのは、とか、一番左側の0.02秒のところ、Z P A というか最大加速度値にほぼ近いところの、
1:15:22	この時軸、軸上の値を見ると、やっぱり村崎っていうのは、加速度の観点ではやっぱり大きいと、影響か。
1:15:31	特にN S 方向ということでは、
1:15:34	S s - F 案に逼迫してる部分もあると、短周期か。
1:15:38	ちょっと具体的にお聞きしますけど、施設への影響の観点といったときに、
1:15:46	実際、
1:15:47	周期3秒とか、ここら辺っていうのはスロッシングとか、
1:15:52	それに関わる設備だと思うんですけどタンクとかね。
1:15:55	プールとか、
1:15:57	タンクとか、3秒に1秒、共振周期体でいくと。
1:16:03	23秒3秒だから2秒1秒2秒ぐらいのもの1.5から2秒ぐらいのものについては影響範囲に入ってくると思うんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:11	そういうものの評価をしたときに、加速度値ってきいてこないか。
1:16:16	確かにスロッシング。
1:16:18	ウーということではスロッシングによるヨード圧っていうものに関しては、数長周期の速度応答スペクトルの大きさがかなり効いてくるだろうというのは直感的にわかるんだけどそれに加えて加速度値も、
1:16:32	上乘せされるわけですね。
1:16:35	抗力としては、
1:16:40	うん、だから個別評価をしたら加速度値無視できないんじゃない。
1:16:45	加速度値無視できなくなってくる、スロッシングプラスそこに、下短周期の加速度値が上乘せになると絶対一番になりますよね。
1:16:54	長周期の加速度値と。
1:16:57	短周期の加速度値っていうのは、位相としては、もう
1:17:02	ずれとかっていう話じゃなくても上乘せになっちゃうので、絶対一番に近いと。
1:17:07	そういうことも考えると、
1:17:09	これって、無視しちゃっていいの。
1:17:14	個別評価で、
1:17:16	もし影響するようなものが仮にあったとしたときに、これって無視できるのかって、
1:17:22	ここの関係でいったら、
1:17:24	ちょっとそこら辺が少し、後々のことも考えると疑問、疑問かなって個々のケースに関しては、
1:17:35	本当にこれして指揮し切れますかって施設への影響の観点で、
1:17:40	長周期だけに着目して、
1:17:43	というふうにちょっとここ、
1:17:45	思ってしまったんですけどね。
1:18:02	北海道電力齋藤です今ちょっと一般論にしかならないかもしれませんがけれども、
1:18:07	今の確かにスロッシング沼長周期の周期に反応して、ある程度変位なりもしくは応力なりっていう形で出るにしても、
1:18:18	短周期が確かに乗るとい、ベースになるっていう点では、
1:18:22	名倉さんのおっしゃる通りかもしれませんがプラス側とマイナス側の両方で加速度がなるっていうことを考えると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:31	絶対和した時にはもうやっぱり長周期優勢という課長周期側のこの変位、そうですね、これが新宮にほぼほぼそれで聞かっていうことでいいんじゃないかと思うんですけど、ちょっと認識がないですかね。
1:18:48	規制庁の名倉です。私経験上、今までの審査の経験上長周期の震動による構造物への影響という観点では基本的には長周期に着目して、
1:19:03	速度シナリ加速度値で評価すればそれで基本的にいいだろうというふうには思うんだけど、
1:19:10	今まで経験した中で、表を使われたのは美浜のフリースタンディンググラフとか、
1:19:16	そこら辺は
1:19:18	長周期のように見えるんだけど、長周期の影響の方が大きいように見えるんだけど、結構、結構加速度が上乘せされてみたり、
1:19:27	そういう意味で、免震とかもそうですけど、
1:19:33	必ずしも
1:19:37	免震装置とか年やっぱり長周期の方の、
1:19:42	速度値でこう等の変位っていうのは、大きくなる小さくなるってあるんだけど、その上に乗ってる構造物の加速度っていう観点で見ると、上乘せされますね貨殖。
1:19:54	だから、免震のガイドの検討でも、規定してますけど、
1:19:58	免震構造の場合の加速度値っていうのは、トタン周期等あと長周期による加速度、そのところについては
1:20:10	従来の時刻歴は落ちて詳細にやるのか、それとも、絶対値はどっちかっていう言い方をしてますよね、S R S Sとかケース法の間では使うなんて話をしてますよね。
1:20:22	そのイメージでお話をしてるんで、そういうイメージで言うとサイトウさんは建築なんで理解をしていただけるのかなと思ったんですけども。
1:20:32	他電力されております。おっしゃることは確かに、S R S Sでは必ずしも追い切れないものがあるという意味では理解しているつもりです。
1:20:43	一方で今回の泊数での後段規制がなるかもしれないですが現実を考えると、
1:20:52	多分実際溶脱が出てくるというのはやっぱりそのスロッシングによる溶脱というようなことが我々の構造物評価にやっとなってやっぱりメインになるっていうかそれが出てくるってのが現実ですんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:03	先ほど長井さんがおっしゃったその特殊特殊構造物というか、ちょっとその表現がどうか分かりませんが、それに対して今のようなS R S Sで追い切れないものが出てくるという可能性は否定できないのかもしれませんが、
1:21:16	今回ドアツープによる物のそれを受ける側のその応力評価をするというように目的に対しては今回のこの選定の仕方では影響がないというか大きいものを結果的に抑えるというふうには考えております。
1:21:35	言っておられることも理解はしましたけど、
1:21:38	具体的に来てしまう免震構造っていうのは採用は考えてない。
1:21:43	という理解でよろしいですね。今んところ、だから基準地震動は想定してないってことですね。免震は、
1:21:51	北海道電力ノジリさんの現時点で免震の建屋は特に想定してません。
1:21:57	あと廃棄等は、制震構造とかは入れてます、言ってない。
1:22:03	R I Sじゃない。
1:22:04	設備系で、制震構造は採用してる。
1:22:19	そこは施設側の論点ということになるかなとは思いますが、要は免震構造とか、
1:22:26	要は長周期構造物として強度評価をするようなもの。
1:22:31	制震構造とか採用して強度評価、ちょ、やや長周期で強度評価をするようなものについては、対象はないと、あとはスロッシングだけが、
1:22:42	提供すんでスロッシングの観点では、長周期のみに着目すればいいんだっていう、そういった説明とかはちゃんとした方がいいかもしれない。
1:22:56	北海道電力、齋藤です。承知いたしました。
1:23:01	免震構造については先ほど申しましたように現段階でその採用数、鶴するものはないという火災を作るつもりはないのと、作る際にはまた別途それ用の地震動を策定すると。
1:23:15	ということかと思っております。
1:23:18	から、東亜ます精神なりそういう長周期になるような構造物ですか、これについての扱いについては特殊というか
1:23:28	何て言うんすかね長周期の影響を考えた構造物なの評価が必要だということだと思っております、それについては理解いたしました。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:00	すいません、規制庁するケースも他の者が確認したところと大分かぶるんですけど、ちょっとこの、今回、追加で今日出てきて今日説明あったこの変更概要によって、
1:24:11	これ多分次直す時に、いやまた同じように何か本、この本体の方と云ってることが全然違うように見えるんですけどってなると困るので、去年のために書くんですけど、
1:24:22	この
1:24:23	選定方法の①。
1:24:25	これ一着目する周期体の定義は多分これ前回から変わってなくて、地震動レベルが大きいケースに加え中の案、工期地震動レベルが大きいケースというものと、
1:24:37	それに加えて、この赤字で、
1:24:39	技術の世襲期待で再収益で最大の動境なるケースっていう何か二つのものがあるように書いてあるんですけど、
1:24:47	これ室本体の資料の方見ると、この地震動レベルが大きいケースって何ですか、地震動大きいレベルの括弧書きの中に、この基準地震動へ精算上回る周期で最大の応答スペックとなるケースってのが書いてあって、
1:25:03	何かこう、暗いケースに加えと言いたいんじゃないかと、
1:25:06	地震動レベルが大きいケースとして、
1:25:10	この赤字のものを選ぶっていうそういうことなんですかね。
1:25:14	多分ここの概要版をですね概要版ですと云って、多分対外的に説明するとその人につまずきそうだったので、この①で言いたいことはそれで合ってます。
1:25:26	はい。北海道電力の高橋でございます。概要版につきましては、地震動レベルが大きいケースに加えエスワンを上回る最大の応答スペクトルとなるものをすべて選びますという形で記載してございまして、
1:25:40	本文の方ですね9ページの米印に記載してございましてけれども、
1:25:47	大きいケースというものと、あと括弧書きで書いてある、書いているものにつきましては、最大の応答スペクトルとなるケースをすべてを含むということで一応含むという形で、アンドという
1:26:00	記載にしているつもりではございますけれども、なかなか
1:26:05	読みづらくて申し訳ありませんが、ここでは一応ファンドというところで考えて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	に加えBなので、は2、それがもし分かれてるんだったらその意味が、
1:26:23	えっと、前回会合で選定したものにつきましては、基本的には地震動レベルが大きいものということで整理してはございます。ただし、その中で、チャンピオンケースになるものというもの、ものももちろんございまして、
1:26:38	イコールプラスアルファみたいな形になっちゃっているというところ。
1:26:45	これは、これは、うん、これ審議としては錯綜しちゃってるので、今まで説明したことの連続性の観点で、付け言葉をつけ足してるんだけど、
1:26:57	逆に混乱してしまっているので、そういう意味で先ほど言ったみたいに、シンプルもうちょっと論理をシンプルに、段ステップを踏んでちゃんとやらないと、ごちゃごちゃになってしまってどれがどれですか。
1:27:09	聞かないとわかんないことになってるので、今そういう状況かなって思います。そうですね。私は規制庁スズキですけどこれ選定方法の使用前塩原んでシンプルに、今の選定方法は何ですかというイメージしか。
1:27:22	見ないので、
1:27:24	見ると、これ、何を言いたいんだっていうふうになってくる。②も、これ選定方法ではなくて、これ本県で9ページに行くと、選定方法としてこの0に該当するようなことをどこにも書いてないんですね。
1:27:37	これ選定方法ではなくて、前回から落としたものの理由づけを0に書いてるんでこれ多分選定方法じゃない。
1:27:46	丸さんは、検討用地震ごとの代表ケース同士を比較してというのが裸で出てくるなぜかという。これ途中で分類してるから、ここで検討用地震の中で、なぜか。
1:27:58	さっき代表形成あんだのに何で比較が存在するのってのはこの分類があるからで、
1:28:03	このづらで裸で書くと、これ、別の検討用地震の代表ケースと何か比較するからようにも見えてしまうんで、そこら辺は言葉として注意してください。
1:28:13	その上で、ここ代表ケースが適切に選定されてることを確認するっていうのが、
1:28:19	ことがここには選定方法の③には書いていて、なぜかそれが、
1:28:25	基準地震動として設定しないかどうかの2ケース減少の理由になってるので、ここも一旦話が飛んでいるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:33	いわゆる妥当性代表ケースが適切に選定されていることを確認するだけなのはずなのに、なぜそこで基準地震動として落とす落とさないの、理由に、
1:28:45	なるのか、多分間が抜けてるんだと思うんですよね。
1:28:49	代表ケース適切選定されたことを確認なのか、そうではなくて、検討地震の中での代表ケース同士を比較して、その分類が複数あるものは、
1:28:59	ホニャホニャエラーの観点で比較をして、最後基準地震動を選ぶっていうことを多分言いたいのかなあとと思ったんですけど、こことそういうところも含めてですね。
1:29:09	最初に、今やろうとしている、最後ロジックとして組んでいるものと、
1:29:14	この概要版の選定方法に書いてることを、こういう形で説明するならですね。
1:29:21	整合するような形にしてもらいたいと思います。
1:29:26	なんで、
1:29:28	いろいろと周りのものを確認していく中で何となく言いたいことわかってきたと思うんですけど、ちょっと本編と照らし合わせながら見ると混乱するので、もしその、
1:29:38	冒頭にですね今後資料を修正して、多分全体の概要版みたいなやつをこう資料の前半部分に加えるような形で溶け込ませていくんだしたら、あの後と整合するようにしてくださいと、そういう趣旨です。
1:29:54	規制庁の名倉です。
1:29:59	S s 版を上回る周期対方向周期体最大の応答スペックとなるケースをまず拾いますと、
1:30:06	そのあとに、検討地震ごとにやるかどうかは別ですけど、
1:30:12	そのあとに追加して選ぶ。
1:30:14	ものに関して、
1:30:16	考え方は方針、方法とかそういったところが、
1:30:21	しっかりコンプリートになっていれば、実はおのずと選んでいないものについての説明はできてるはずなんです。
1:30:28	すいませんこの間、介護で選んでいないものについても明確に理由を説明してくださいよ、それができるように選ぶ方の理由の論理をちゃんとやってくださいよという趣旨でお話をしているので、
1:30:40	ちょっと意地悪な言い方をしましたけど、びしっと選ぶ方に対しての考え方。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:45	これが方針方法、すべて整合する形でちゃんと入れていれば、それでもう十分なはずです。
1:30:54	それをちょっと意識して、
1:30:58	論理を論理論理構成と、
1:31:01	それを
1:31:02	構成する、方針、方法というかそういったものをちゃんと
1:31:09	コンプリートに、
1:31:11	きちっとそろえていただければいいのかなと思います。以上です。
1:31:18	はい北海道電力野地です。はい。今鈴木さん、それから名倉さんおっしゃられたところ、資料としての整合をしっかりとすることと当然ながらその中のロジックが一气通貫でしっかりご理解いただけるものっていうことに、
1:31:32	なると思いますので今一度を整理したいと思います。私もちょっとこの概要を今回お出しした概要版の方も、
1:31:41	その結果として差が出てる、基準地震動として違いが出てるところの理由をちょっと選定方法の方に活気に行くというちょっとまあ逆プロセスみたいな感じでちょっと資料作ってるようなところもありますので、
1:31:52	もう1回、順を追って説明できるようなところをちょっと整理させていただきたいと。
1:31:58	思いますはい。以上です。
1:32:08	丹です。続いてなんですけど、
1:32:11	あとは、
1:32:12	87ページの方の確認をしたいんですけども、これって前回の会合で、
1:32:20	S1を超えるところで、
1:32:22	オートスペックと時間運営等、断層モデル法の最大となる、なるようなものが選ぶってというのはわかるんだけども、それ以外も選ばれているものに対して、
1:32:33	どういう施設への観点で選んでんですかっていう話をしたん。
1:32:37	ていうのにここですよね答えてるページで、この1ページですよね。
1:32:43	まずですね、これ。
1:32:47	これ、
1:32:49	何で、何で87ページが、
1:32:53	参考なのかって言うのも、
1:32:56	よくわかんないの。藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:59	これ、結果に対して説明してくれたらいいと思ってるので、何でこれが参考扱いなのかよくわからないのとその、
1:33:09	出だしの説明がですねこれ。
1:33:12	1117 かいの会合で設定した地震動のうち、
1:33:17	1084 回で候補に該当しない 5 ケースの扱いは以下の通りってこう言われても、これは私たちは、一応この両方の会合の資料見てるから、
1:33:28	言わんとしてることは、私達わかります。でもこれ、
1:33:35	んな、なんていうんすかね。
1:33:37	基準地震動の候補。
1:33:39	何なんですかって言ってまたそっから説明しなきゃいけなくなりますよね。これ、もともとだから、S s 1 を上回ってチャンピオンならないもの以外でも、
1:33:50	選定、S s にしているものはこういう、
1:33:55	地震動でそれはこう考えて選定していますよっていう、ちゃんとこの前提をですね、書いて欲しいなというところと、
1:34:05	それはいいですかね。私この出だしが、
1:34:08	よくわかりませんよっていう話は、
1:34:12	はい北海道電力野尻ですおっしゃる通り今言われた通り
1:34:16	もともと全体の断層モデルの中のチャンピオンになるものっていうのが、
1:34:20	前々回ですね、10 月 20 日の候補っていうことなんでそこはもう、しっかりと理由を理由というか考えを書きますはい。以上です。
1:34:30	井谷審査資料としていついつ行っててこういうやつはっていう話をするんじゃないかって最終的な結果として話で言ってもらったらいと思います。説明してもらったらいと思いますけど。
1:34:43	取り扱いん対象と取り扱ってっていうのを書いてて、
1:34:56	二つ目。
1:34:59	何か、一つ目二つ目っていうのはもう、ここの全体で、前の段階で、
1:35:06	オミットするっていう説明の中でしっかりしてもらったら、
1:35:11	よくって、最終的にどういう基準地震動を選んでますっていう説明の中で、
1:35:18	話すんだったら、今この三つだけ話せばいいのか何かもっと、
1:35:23	もっとありそうな気もしたんですけどこの三つだけでいいんですかね。今、最大ケースじゃないけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:31	この2ページで最大ケースに丸がついていないんだけど、
1:35:36	選ばれてるっていうものは、この三つなんです。
1:35:43	この三つだけ説明したらいい、よさそう。
1:35:52	はい。北海道電力の高橋です。最大ケースで、今今回エラー、選んでいるものに対して、最大ケースの中、
1:36:06	金。
1:36:07	甲斐。
1:36:08	選んでいるものにつきましては、この3ケースのうちの、破壊開始点2番と、4番、こちらについては、最大ケースとはなっていませんが、今回選んでいるもの。
1:36:20	3番につきましては、分類5、
1:36:23	の最大ケースになっているものになってますのでそれは選んでいますという形になるかなと思います。以上です。
1:36:40	はい。ここで言っている2番3番4番が対象となっておりますので、2番3番4番の御説明としては、3番は、
1:36:51	ル以降で、
1:36:54	分類5というか、検討用地震の中で最大ケースになっているものになってます。
1:37:00	2番4番が、
1:37:02	最大にはなっていませんけれども、今回施設影響が大きいという観点から、ピックアップしたものという形になってございます。失礼しました。
1:37:41	はい。そうですね。おっしゃられていることをもともとかなと思います。今回、こちらに記載したのは、
1:37:49	前々回13ケースですね、そちらから前回で選んで、プラスで選んだものの取り扱いをまとめておまして、別紙の方で、前回から今回の変更点をまとめた。なので、若干トーンが少し違うものが、少しかぶってきてるっていう状況なので、
1:38:07	そこら辺については整理させていただいて、資料の方まとめさせていただこうということで考えてございます。
1:38:13	以上になり、
1:38:15	やっぱりね確認しないとよくわからなくて作ってる方々は、わかって作ってるのかもしれない。井澤桑田されると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:26	何がスタートで話すべきなのかこの説明として漏れてるものはないのかとか、やっぱりたどっ簡単にたどっていけないような作り方になってると思いますので、その結果としてこういう地震が選ばれますと、
1:38:38	選ばれてそのうちこれとこれとこれは、最大ケースなんです。残りのほかは最大ケースじゃないけど、選んでます。それはこういう理由ですって。
1:38:48	何かやっぱりその単元単元でちゃんと説明してもらったほうがいいかなと思って、今の確認をしています。
1:38:55	で、状況わかりましたでこれもひょっとしたら、さっきのやりとりを踏まえるとか、変わるのかもしれないんですけど、一応言っときますと、やっぱりこの取り扱い、取り扱いという言葉が合ってるのかよくわかりませんが、
1:39:10	取り扱いで説明してることって、
1:39:14	やっぱこうなんか選定をこうしていますっていうような選定の説明をしている。
1:39:22	ただだけのように私は見えてしまって、
1:39:29	なぜ選定されてた、なぜ選定されたかっていうその選定フローに基づいて選定されたのは、それは
1:39:39	そういうことなんでしょうと。ただ、施設との観点で、S sとして、こういう考えで、こういう影響も考えて選ぶんだと。
1:39:50	いうのをですね、もう少しわかりやすく説明してもらった方がいい気がしています。
1:39:57	で、結局、何かキーワードとしては施設に影響を与える可能性が否定できないことから、
1:40:04	こういう選び方をしているから、こういう選び方をしたものは、施設影響を与える可能性が否定できないことから、っていう説明になってんだけど、
1:40:13	それはまあまあわかるんですよ。
1:40:15	だからこういう選び方してるっていうなので、
1:40:19	もう少し具体的にどう、どういう特徴がある地震動で、
1:40:25	どういう観点でやっぱり施設への影響は否定できないのかっていう書き方になるのかなと思いますけど、もう少し、考えられてることが、
1:40:35	伝わってるかどうかを確認してもらって、何か変えるようだったら変えるんで、これもこのままでいいんだっていうんだったらこのままでも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:44	あの会合で聞こうかなと思っていますので、
1:40:47	お願いします。
1:40:53	はい北海道電力の辻です。
1:40:55	87 ページについてはちょっともう 1 回、
1:41:00	選定の方法というかプロセスをもう 1 回整理した上でですけどここに上がってくるものについては、
1:41:07	どういう観点どういう地震動の特徴があってそれがどういう施設影響があるのか、あり得るのかですね、というところをもう少し具体的にしっかり書いて、なので選んでますもしくは選ばないんですけどいうところをはっきりさせるようにしたいと思います。
1:41:26	はい、谷井です。これあれですもんねあの会合でも論点が絞られてきた中での、その中の一つになってるので、
1:41:35	これ大事な大事なというか論点の残ったものとしてかなり
1:41:41	注目するようなどころでもあるのでね。
1:41:44	しっかりと説明をお願いしたいっていうところです。
1:41:48	あとはですね、
1:41:51	結局この資料って、説明、
1:41:57	39 ケースでずっと説明して最終的に選ばれたのは、
1:42:03	例えば、
1:42:05	尻別川だったら、代表係数、
1:42:10	最後、
1:42:15	尻別川の最後こうなりますっていう。
1:42:18	結論。
1:42:22	50 ページですか。
1:42:38	これ、基準地震動として尻別川で比べてるようなものはなんもないんですかね歩。
1:42:46	選ばれなかったケースと基準地震動との関係、こっから
1:42:51	オレンジ等、
1:42:53	を抜けばいいんですけどっていう説明なのかなと思うんですけど。
1:42:57	結局その際、最後どうなってるかっていうのももう一つ例えばね、基準地震動としてこれ選ばれてて、これ 39 ケーススタートにしていますけど、
1:43:08	最後の絵では、全部の
1:43:11	110 何ケースですかね。そその外したらもう選んで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:15	選んで結局知利別側の
1:43:18	選定としては、たくさんある中でこれを選ぶのが適切なんですっていう、何か絵にした方がいいのかなと、やっぱりこう、
1:43:28	最後のまとめを 39 に対して話すんじゃ。
1:43:32	ないんじゃないかなと個人的には思うんですけどもそれが煩雑になるから、今のこの絵は要ると思うんですよ。途中経過として、
1:43:40	最後は最後で何か
1:43:42	してて言いたいこととしては、
1:43:45	S s 1 を上回る部分では、選んでるもので完全に包絡できていますって、
1:43:51	ということなんですよねそ。
1:43:54	それで、
1:43:55	そういう説明になってるってことですよね。
1:44:00	そうですねはい北海道電力野尻です。そういうことで尻別川でいうと、50 ページのところで、
1:44:07	ここ、赤と青黄色の比較もしてますけどそれはそれとして、赤がしっかり、
1:44:13	影響の大きいものですよということをここで言ってる場所なので、
1:44:18	これはこれで、赤青黄色の比較という意味ではこれが必要になって、多分その後ろに、もう 1 個赤が最終形として赤 1 個が基準地震動ですっていうところに、
1:44:30	の絵を入れると、そんな時に、今は S s 1 を上回るグレーのケース 10、旧京成は 9 はを入れてるんですがそこがもう 10 何ケースか 20 ケースあると思うんですけど、それを変えた方がいいっていう、
1:44:44	それが尻別川断層の全体の評価結果から選んだものですよっていうことを説明するっていうイメージですかね。はい。わかりやすさとかもあるんだと思っててこうしてる理由はね、
1:44:57	僕の方としては最後のまとめとしては、
1:45:00	全体の中から選ばれてるっていうのが、
1:45:05	赤とかの頭の整理はしやすいかな、どういうものが選ばれてるのかっていう話がですね。
1:45:14	わかりますとやるやるんなら、運用というかわかりましたちょっと後もう 1 回変えてみてですね逆にぐちゃぐちゃになるんだったらちょっとそうではないですしちょっともう 1 回はいい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:25	ただ色は全部つけに行くわけではないので、見えるようにできると思いますんでちょっとやってみます。
1:45:37	おなじように、最後選ばれた 17 地震と、
1:45:46	17 地震と選ばれなかったものの関係はどこになるんですか。
1:45:53	北海道電力の鍛冶です。76 ページに、最終的に S s としたものと、S s - にしなかった、
1:46:03	39 ケースのうち S s にしなかったもの。
1:46:06	の、すべてのまとめていう形で 76 ページに記載しておりまして、グレーが S s にしなかったものと、
1:46:14	その他、色がついてるものが今回 S s にしたものであるという形で記載をさせていただきます。以上です。
1:46:28	はい、わかりました。これもだから
1:46:31	これも本当ごちゃごちゃなるのかもしれないけど、
1:46:34	全部並べてもいいのかもしれないし、さっきあれでしたね私ちょっと、
1:46:41	言い方間違えたかもしれないけど、
1:46:45	今後の説明によってはひょっとしたらその各検討用地震で、最大係数が崩落したものが選ばれ、
1:46:54	てんないかもしれない。
1:46:56	内容の説明になる。
1:46:59	それよようするに積丹半島の、
1:47:03	話があって、
1:47:06	この辺の整理はね、最後、選んだ結果に応じた説明をしてくれたらと思います。
1:47:15	私の方はですね、あとは、ひょっとしたら、
1:47:21	今後ちょっと変わってしまうかもしれない細かい内容しかないので、今日今日のところの確認としてはちょっと、
1:47:29	うんこ以上にしたいと思います。このほか、
1:47:32	確認しておきたいことありませんか規制庁。
1:47:44	規制庁佐口ですけど、やはりですね、全体通して、
1:47:50	きちんとまず、ロジカルにというかロジックが整合しているかどうかというのをやっぱりちゃんと確認をしていただきたいというのがまず 1 点ですね。
1:47:59	あくまでも、これ私が資料を見たところによるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:04	うん。検討用地震ごとでひょっとしてやってることは同じなはず。私が見る限りは、でも、実は書いてることって、本当に同じようなことが書かれているかどうかっていうと、
1:48:16	そうではないのかなというのが正直なところで、10、12 ページから10、ごめんなさい、10 ページから 12 ページですねこの下の箱書きで、やってることは最終的には、
1:48:29	代表ケースが幾つかあってさらに代表ケースでも比較してどうだということを書かれてるんですけど、この文言が本当に例えば 10 ページと 12 ページを比べて、
1:48:39	同じ行ってみえるかどうか。
1:48:43	なんですよ。
1:48:45	とかですね、11 ページも含めて、11 ページはこれは分類が一つしかないんで、とにかくこのを
1:48:52	全部は全部をもう基準地震動として設定しますよっていうのがあるんですけど、で、
1:48:58	先ほどもちょっといろいろ確認の最中にありましたけどじゃ本当にこの分類ってどうなのっていうのも当然あってですね。
1:49:06	で、じゃあ分類で尻別川だったらどうやってるとか。
1:49:11	いう話になったときに、例えば 34 ページでしたっけ、これで分類 A と B におけますところ、
1:49:18	ずつですね。
1:49:20	結局、着目してるのって、尻別だって何でしたっけって考えると、
1:49:25	これ長周期なんですよ。でも分類は、実は、短周期レベル、ごめんなさい、短周期側の方にもちょっと着目して、
1:49:34	分類をされていて、
1:49:36	最後に分類 A と B と分けて再最後の比較をしましょうといったときに、
1:49:43	40、
1:49:45	何ページですけど、さっきの 50 ページぐらい、最後の、
1:49:49	ところに出てくるんですけど、
1:49:51	またこれですね。
1:49:54	当然ながら S s 1 を超えてる部分ではこれ完全に包絡され、してるので他のところは、一つでいいでしょうと。
1:50:02	でも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:03	もともと分類してたあれ短周期に着目してて、分類もしてませんでしたっていうんでちゃんと短周期の方見ると、
1:50:10	当然包絡されてなくて、でもそれはあくまでも、
1:50:14	S s 1と比較すれば、レベル感として小さい部分なのでそこはまあいいでしょうという、でも、
1:50:20	着目する周期はこれで、だけど分類はこうで、最終的に結果は、やっぱりまた高齢とかですね。
1:50:29	そこがちょっと、
1:50:31	統一感がないなど、逆に言うと、
1:50:35	54 ページ、55 ページ 54 ページ。
1:50:39	ねえ。
1:50:40	いわゆるこれ f s 中からのこの連動断層なんですけど、
1:50:45	これは分類一つでいいと言いつつ、これ、
1:50:52	着目する周期って当然これ長周期側で、
1:50:55	徴集議案を見ると、
1:50:57	あれちょっとレベルの低いのが幾つかあって例えば N - S 数とか、 E W でもそうそうなのかもしれないっていうでもそうかもしれないですね。で、さらに短周期側ですね。
1:51:09	S s には届かないんですけど、
1:51:13	N - S 見ると、短周期側でちょっと大きくなってたりするのがあって、あれじゃこれって、じゃあに二つに分類ができちゃったら実はできるんじゃないかとかですね。
1:51:22	いろいろあってですね、そういった分類のやり方でも結局最終的には検討用、私の理解ではですね、検討用地震ごとに、
1:51:34	まずは最大となるような応答スペクトルが、
1:51:41	最大と最大っていうのは一部の収集中期待ですねそれも方向によらず、
1:51:49	最大となるものを、もれなく抽出をしましょうという、
1:51:55	今多分観点でされているのかなというふうに、資料見て受け取ったんですけど、どうもですね、その辺が、
1:52:05	ちょっと昨年としないというかはっきりしないような資料になってるので、
1:52:09	なので次回多分いろいろこう、また、
1:52:13	記載の適正化とかですね、されると思うので、そこは、
1:52:17	もうちょっとシンプルにとかわかりやすくかつ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:21	検討用地震ごとで、そのバラバラになっているというような、
1:52:26	感じを与えないような形で、ちょっと資料は作成していただきたいというのと、
1:52:35	あとちょっと文言細かい話になりますけれども、
1:52:39	最初の方で、
1:52:41	方針なりでですね。
1:52:45	9ページなんか特にそうなんですけど、9ページの下の方、箱書きのところっていうのは、もう、例えば一つ目の矢羽根の最後。
1:52:54	施設に与える影響が大きいケースが選定される。
1:52:57	二つ目の矢羽根の最後もそうなんですけれども、これは基準地震動について、
1:53:04	として漏れなく選定されるとか、
1:53:07	当然言い切られてるわけなんですけど、これがですね。
1:53:11	後ろの方に行くとはですね、ちょっとトーンが弱まってですね、例えば10、13ページだとですね、
1:53:17	一番最後の何かまとめじゃないんですけど、あと施設に与える影響が大きい地震、基準地震動が選定できていると考えているとかですね。
1:53:26	これが、
1:53:27	結構随所に出てきて、
1:53:29	もう当然ながら、それは自信を持ってこれはきちんと設定できているんだ、選定されているんだってあればきちんと言い切っていて、ちょっと、
1:53:39	その文言の微妙なぶれっていうんですかね、揺らぎみたいなのないような形で、保守料は、
1:53:47	記載、
1:53:48	していただきたいと。50ページ先ほどもいろいろ確認ありました50ページの最後もそうですね。
1:53:56	選定されていると考えているとか、
1:53:59	そこはですね、もう自身が自信持って、きちんとできてますよというんだったら、ここはちゃんと言い切りたいと。
1:54:08	思いますので、そのあたりはよろしく願いますなので大きく私からは2点ですね。
1:54:14	ちゃんと、検討用地震ごとに何かこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:19	やっていること、選定をしていることがバラバラになっていないはずなので、そこはきちんと統一感を出していただきたいというのと、
1:54:29	考えている部分と、もう自信を持ってきちんと選定できているとか、そういうことが言い切れる部分はちゃんと言い切っていただきたいと、この2点なので、よろしくお願いします。
1:54:42	はい北海道電力野尻です。はい今おっしゃられた通り検討用地震ごとにやってる、作業というか検討の流れは変わってない。同じこと、同じルールでやっているというものになりますので、
1:54:53	そこはしっかりそれがわかるように整理するというところとあと語尾ですね、のところちょっとページによって多少ばらつきがあるのでそこは、
1:55:02	しっかりと我々の考えとしてこれで選んでいる妥当だっというところの考えを書くということで整理させていただきますで、
1:55:10	途中であった通り、やはりこの分類をしてるかしてないかによってちょっとこの検討地震のところの書き方が変わったりとかって言って戻ってっていうところがどうしても出てしまっているのでも初、
1:55:23	議論の中でもあった通りちょっとそこはもう一度整理して、もしかしたらやはり分類自体は、結果着目する周期第2、
1:55:30	戻っていくという結論、どうしてもこれは変わらない施設影響という観点でそこを見るっていいと思ってますんで、そこに行き着くように、より複雑にならない。
1:55:41	流れをちょっと考えたいと思います。ありがとうございます。
1:55:54	あとは北海道電力の方から何かもう確認だとか言っておきたいことがあれば、
1:55:59	どうぞ。
1:56:02	はい。北海道電力の方から、特にありません。
1:56:07	それではヒアリングの方は以上にしたいと思います。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。